農協だより
たいき
2018. 9月
No.567

第22回大樹町家畜まつり
チャリティー総額74,079円
大樹町社会福祉協議会へ寄付

大樹だいこん撰果
3ページ～

女性部「環境美化運動」
5ページ～

農作物生育状況

一部農作物で遅れ！

―1番牧草の収穫量は平年並もしくは下回る―

8月1日現在において、各農作物の生育状況は、6月中旬からの長雨による日照不足の影響があるものの、積算温度は平年を上回ったことで、平年より5日遅れから2日早く生育が進んでいる。

馬鈴しょ、てん菜の植付は順調に進み、馬鈴しょは1日早く並、てん菜においても2日早く並となっている。作付面積は馬鈴しょで276ha、てん菜で556haとなっている。

豆類に関しては、小豆で5日遅れのやや不良となっており、今後の生育に期待したい。

秋まき小麦の収穫は、7月31日から始まり、猛暑日が続くことによる製品歩留まりの低下が懸念される。

飼料用とうもろこしは、圃場の雪解けが早く順調に播種作業が進み良好な発芽および生育を見せていたが、6月中旬からの長雨による日照不足により伸長が停滞。しかし、積算温度は平年を上回って推移しており、±0日の並となっている。

2番草の生育状況としては、1番草の収穫遅れや長雨の影響を受け、平年よりも2日遅い並となっている。1番草は昨年と異なり収量は確保できたものの、栄養価や嗜好性については低い可能性が有るため、給与時には粗飼料分析による栄養分析値の確認を行う必要がある。

各作物の風景

大樹町農作物生育状況定期調査結果

農作物生育状況（平成30年８月１日現在）

大樹町ゆとり農業推進会議

作物名	生育状況										農作業状況				地区の概要
	生育概要					特記事項	生育期節		生育の良否	遅速日数	農作業名	月日	遅速日数	進捗率（%）	生育期節・障害の状況
							項目	月日							
秋まき小麦（きたほなみ）	かん長(草丈)	葉数	茎数	穂長	1穂粒重		成熟期	7/31 (7/29)	並	－1	収穫始め	8/2 (8/1)	－1	3%	
	( )	( )	( )	( )	( )										
馬鈴しょ（コナフブキ）	茎長	茎数	上芋数/株	上芋1個重	ライマン価		終花期	7/31 (8/2)	並	＋1					
	84.9 (76.9)	2.5 (3.2)	( )	( )	( )										
小豆（きたろまん）	草丈	葉数	着莢数	主茎節数	一莢粒数				やや不良	－5					
	15.9 (6.0)	28.0 (7.7)	( )	( )	( )										
てんさい（アンジー）（直播）	草丈	葉数	根周	糖度	10a収量				並	＋2					褐斑病1/100株
	49.7 (56.8) 53.3	24.1 (21.6) 17.5	26.9 (25.2) 22.1	( )	( )										
サイレージ用とうもろこし（マルチ）	草丈	出葉数	稈長				雄穂抽出期	7/26 (7/29)	並	＋0					
	218.9 (238.5) 261.8	15.2 (15.0) 17.0	( )	( )	( )										
牧草	草丈								並	－2	1番収穫終	7/20 (7/6)	－14	100%	
	67.6 (67.1)	( )	( )	( )	( )										

※（ ）内数字は平年値を表す。

「大樹だいこん」&「浅漬大樹だいこん」

「大樹だいこん」の出荷作業が7月6日より始まった。

撰果場には、生産者から持ち込まれた大樹だいこんがコンテナから洗い場に流され、葉とヒゲをカットされた後、大勢の従業員によって撰果される。

撰果された大樹だいこんは10kgに箱詰めした後、予冷され本州の市場に出荷される。また、評判の高い「浅漬大樹だいこん」の原料となる。

30年度の生食大根の作付面積は、4戸31.5ha（大樹3戸22.8ha・広尾1戸8.7ha）で、7月6日から浅漬大樹だいこん用を撰果し、本州市場向け出荷は7月15日開始した。

農産販売課の種田担当は、「6月中旬の低温により生育の遅滞が懸念されたが、概ね予定通りの撰果開始となった。当地区では大きな問題は発生していないが、道内各地区で生育の遅滞・褐芯や軟腐病の発生により生産量が低下しており、また西日本豪雨災害による物流情勢悪化も重なり、市況は全国的に高騰し秀L1，500円／ケース程度で推移している。現在9月中旬頃まで生産量回復の見込みはなく、高値安定が続くと予想されている。本年度は気温が高く、軟腐病の多発が見込まれるため特に注意が必要である」と話している。

「浅漬大樹だいこん」の製造作業が7月6日より始まった。

この「浅漬大樹だいこん」は、生食大根の優品などを使用し、約3週間の工程で加工・製品化する。生産工場では、平均で1日約800袋の生産が可能となっている。

製品は主に管内に出荷され、大手スーパー（マックスバリュー・ダイイチ・フクハラ）等に卸している。大樹町内では、コスモフード店・フクハラ大樹店で取り扱っており、今年は8月9日より店頭に並ぶ。価格は、店頭価格で400g400円程度で販売され、年内いっぱいの出荷を予定している。

大樹町農民協議会
町議会に陳情書を提出！

5月25日、種子法の廃止に伴い、「北海道主要農作物の道条例の制定に関する陳情書」を大樹町議会に提出した。

種子法の廃止は、公的機関による種子生産・供給体制の低下。また、民間事業者への知見の提供により外資の参入機会が広がり、多国籍企業による種子の独占に繋がる危険性がある。

海外では、化学肥料を生産する大企業4社が世界の7割以上の種子を独占。種子と使用農薬がセットで指定されるケースが多い。また、少数の国が遺伝子組み換え種子の特許を認めており、20年で慢性疾患が急増、平均寿命の伸びが止まる傾向にあると言われている。

そのため、北海道に現行の制度を維持するよう、各地区の農民組織が北海道独自の種子条例制定を求める運動を行った。

高橋はるみ知事は、7月4日に開催された特別委員会の中で「条例の制定に取り組んでいく」と明言。今回の活動により条例制定を明言する知事答弁のほか、海外の工業的な農業に追随することなく、安全・安心な食料を提供する日本らしい農業を守ることに繋がった。

青年部

農畜産物消費拡大事業

クレープとアイスを販売

７月13日と14日の両日、道の駅コスモール大樹イベント広場で大樹町商工会青年部主催の「第13回納涼ビアガーデン」に出店し、農畜産物の消費拡大事業を行った。

この事業は、今年で８年目となり、両日で延べ20名の部員が協力した。

両日とも、雨が降ることなく多くの来場者で大盛況となり、農協青年部が出品した「カウベルアイスクリーム」と「クレープ」にも行列ができた。クレープでは、白玉に黒蜜をかけた和風クレープやハムとキャベツの千切りが入ったサラダクレープの提供にも挑戦。どれも盛況で、農畜産物を大いにアピールできた。

餅まきのイベントでは、農協青年部からチーズセットの景品を提供。戸枝部長がコスモール屋上より餅をまき、多くの来場者が集まった。

ビアガーデン終了後には、商工会青年部との懇親会が開催され、他業種との連携強化につながった。

ＪＡ青年部ブース

クレープの作業風景

部長による餅まき

部長賞の贈呈

ジュニアホルスタインクラブ

夏休み「サマースクール」

８月３日、大樹町生涯学習センターにおいて、大樹町ジュニアホルスタインクラブ「サマースクール」を開催した。

当日は、会員12名と保護者16名が参加し、アイスクリーム作りを行った。和気あいあいと協力しながら作業を進め、無事に完成。アイスクリームを試食した会員たちは、「おいしい～」と大満足な様子だった。その後は、昼食会場に場所を移し、バーベキュータイム。焼肉を囲み、夏休みの楽しい思い出となった。

完成したアイスクリームを試食する会員

牛乳・乳製品消費拡大運動

ＪＡ大樹町では、８月５日に行われた第29回歴舟川清流まつりにおいて、牛乳・乳製品消費拡大運動を行った。

当日は天候にも恵まれ、雪印メグミルク㈱の牛乳を４００パック無料提供した。また、子供向けに牛乳を楽しく飲むことが出来る味付きストローも３００個配布。用意した牛乳とストローは、清流まつり開始後、30分程度で全て提供し終え、来場者に牛乳・乳製品の飲用需要拡大をＰＲした。

来場者に牛乳を手渡しＰＲ

女性部

「ゆにガーデン」を視察

―環境美化運動―

7月20日、部員22名が参加する中、環境美化運動の一環として、由仁町の「ゆにガーデン」を視察した。

ゆにガーデンは、園内に15のテーマガーデンが広がり、色鮮やかな四季折々の花やハーブを楽しむことができる。この時期は、「リナリアまつり」と「ユリ・アジサイまつり」が開催されており、夏の花々が出迎えてくれた。

到着後、由仁近郊産の新鮮で旬な野菜を使用した身体にやさしいヘルシーなバイキングでランチタイム。色鮮やかで目にも美しい料理を堪能した。

続いて、押し花コースター制作を体験。参加者は、押し花の色や種類、葉の形を考えながらピンセットを使って1枚1枚並べていく細かい作業を重ね、コースターを作り上げた。

その後の自由時間では、ガーデン内を散策したり、お土産コーナーで買い物を楽しんだりと思い思いの時間を過ごした。帰り道には、長沼町の道の駅「マオイの丘公園」に立ち寄り、売店や農産物直売所を見学。1日を通して天候に恵まれ、見学日和の充実した視察となった。

綺麗に整備されたガーデンの様子

押し花コースター制作体験教室

セルフスタンド サマーキャンペーン

JA大樹町セルフスタンドでは、6月29日と30日の両日で「サマーキャンペーン」を実施した。

キャンペーンでは、ガソリン・軽油20ℓ以上の店頭給油した方に1日目はトイレットロール、2日目はBOXティッシュを各日500台限定でプレゼント。JA職員や関係機関の誘導で車列を整理する声が飛ぶ中、多くの来場者で賑わいを見せていた。

また、ポイント5倍、洗車プリペイドカードの30%OFFセールや、スピードくじチャレンジも行われた。

販売実績は、1日目は来客台数559台、販売量14.7kℓ。2日目は来客台数576台、販売量14.2kℓとなり、2日間合計で来客台数1,135台、販売量28.9kℓとなった。ホクレンSSポイントカードの推進は、2日間合計で40枚となった。

列を作って給油を待つ来場者

ヘリコプター農薬散布

ＪＡでは、７月８日～10日の日程で、種子馬鈴しょ・生食澱原馬鈴しょ圃場で、無人ヘリ散布防除を行った。

実績は種子馬鈴しょで２戸約15ha、生食澱原馬鈴しょで４戸約45haとなり実戸数６戸約60haの実施となった。

今回のヘリ散布防除は６月に続いた長雨でトラクターが圃場に入れない組合員の要望に応え実施した。

第3回 農業塾2018

８月７日、ＪＡ大樹町において、９名の受講生が出席の下、第３回農業塾を行った。

午前の部は、大根の撰果場と漬物加工施設の見学を行った。撰果場では農産販売課種田担当より、撰果方法について説明があった。漬物加工施設では高橋担当より、加工処理能力や販売先について説明があった。

午後の部は、生乳生産10万t記念講演時に行った本川牧場社長による特別講演のDVDを鑑賞した。

次回は９月４日に「酪農畜産コース」と「農産コース」に分かれ、それぞれ座学と現地講習を行う予定。

新入職員紹介

８月１日付けで１名の職員を採用しましたので紹介いたします。

✿所　属✿
金融部
貯蓄共済課

仲澤（なかざわ）　明穂（あきほ）

✿生年月日　平成８年７月１日
✿出 身 地　大樹町
✿最終学歴　大樹高等学校
✿趣　　味　ミニバレー・カラオケ
✿抱　　負

いち早く組合員の皆様のお役に立てるよう、今までの経験を活かし、明るく元気に頑張りますのでよろしくお願いします。

藤丸ミニショップ開催

７月18日、帯広市の藤丸百貨店がコスモール大樹において、ミニショップを開催した。

当日は、雑貨や便利グッズなど約３５０アイテムを出品した、東急ハンズトラックマーケットが大樹町に初登場。

また、モロゾフのスイーツやドンクのミニクロワッサン、かま栄の揚げかまぼこなど、藤丸で人気のグルメを買い求める来場者で長蛇の列ができていた。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

7月2日、平成31年度農業関係予算概算要求に向けた農林水産省との意見交換会を、4～5月にかけて各地区から寄せられた現場の意見を踏まえ、6月の各作目別対策委員会等で決定した、JAグループ北海道の政策提案に基づき行いました。

JAグループ北海道からは道連役員、JA組合長、青年女性組織代表者ら143名が参加し、農協組織基盤、基本農政、水田、畑作青果、酪農畜産の各対策につい要望内容を農林水産省に伝え、意見交換を行いました。

今後も持続可能な北海道農業確立に向けて、生産現場の意見をしっかり国等に伝えて参ります。

JA北海道信連

JAバンク北海道は、特殊詐欺被害が多発している現状を踏まえ、北海道警察と連携し被害防止への取り組みを実施しています。6月に実施した「年金感謝ウィーク」では、JAで年金をお受け取りされているお客様が来店した際、特殊詐欺に関する注意喚起の標語を印刷した「招福ようかん」をお渡ししました。また、ラジオ番組では電話でお金を要求された際に家族や警察に相談することを幅広く呼び掛けています。

ホクレン

ホクレンのオリジナルブランド玉ねぎ「環（※めぐる）」と「真白（※ましろ）」の売り上げの一部が活動に役立てられているコープさっぽろの事業「第11回コープの森植樹祭」が、今年も5月から6月にかけて全道11カ所で開催されました。

環と真白1パック購入ごとに1円を「コープ未来（※あした）の森づくり基金」に協賛しており、2017年度は、約63万円の実績となりました。

JA共済連北海道

JA共済連では、7月8日に札幌ドームで開催された「北ガスグループ6時間リレーマラソン」に有志34名が参加しました。他の企業も多数参加しており、JA共済連では「ひと・いえ・くるまの総合保障」を掲げ、職員が揃いのTシャツを着て一生懸命走ることで、JA共済を大きくPRしました。

今後もこのような活動を通して多くの皆さんに「JA共済」を知っていただくよう活動していきます。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

十勝農業改良普及センター 十勝南部支所通信

乾乳牛の暑熱対策

乾乳牛の暑熱対策は重要です。

近年の研究で、乾乳牛の暑熱対策が次乳期の乳量を向上させることがわかっています。乾乳期に暑熱対策を施した牛と施さない牛を比較すると、分娩後に同じ管理をしても、乾乳期に暑熱対策を行った牛は、分娩後の平均日乳量が多いと複数の試験で報告されています。このことから暑熱対策により乾乳期の乾物摂取量（ＤＭＩ）が増え、泌乳細胞が発達するといえます。

牛は汗腺が少なく、体熱放散効率が低いので、暑熱下では容易に体温が上昇します。体温上昇は、ＤＭＩ低下に直結します。

また、妊娠末期のヒートストレスは、母牛だけでなく生まれてくる子牛にも影響します。分娩前３週間に継続してヒートストレスを受けた母牛から生まれた子牛と、受けなかった母牛から生まれた子牛を比較したデータがあります（表１）。

ヒートストレスを受けると、子宮への血流量減少による栄養供給低下と、母体の体温上昇で胎子も高温にさらされます。そのため出生子牛は、発育が抑制されるとともに身体機能が損なわれて低体重となり、初乳からの免疫物質であるグロブリンの吸収効率も低下すると考えられます。

表1　出生子牛の比較

	ヒートストレス群	対象群
子牛生時体重	36.5kg	42.5kg
血中グロブリン濃度	10.6mg/mℓ	15.8mg/mℓ

2012年 S.Tao ら（Journal of Dairy Science）一部改変

妊娠末期の母体に対するヒートストレスが子牛におよぼす影響の比較試験。給与初乳は、両群とも同じものを同等量給与。

体温上昇を抑える環境を提供する

体熱放散を促すためには、牛体への直接送風が効果的です（写真１）。必要なら乾乳舎の扇風機台数を増やすことも検討しましょう。

最近、ミストを組み合わせて設置する例も見られます（写真２）。

天井の低い施設の場合は、大型扇風機でのトンネル換気も有効です。冷却効果を得られる風速は、２ｍ／秒とされています。

採食量低下要因を取り除く

乾乳期は、胎子が急速に成長するため、消化管が圧迫されます。牛の食べる意欲を減退させないために、居住エリア内の「牛に不都合な要因を取り除くこと」が大切です。

①エサ・飼槽の管理

微生物が活発に増殖する時期です。混合飼料は給与直前にミキシングしましょう。

給与で最も気をつけたいのは、清潔な飼槽への給餌を徹底することです。暑い日が続くと、腐敗菌やカビなどでヘドロ状の汚れが発生し、悪臭の原因になります。残飼は、二次発酵の原因にもなるので、必ずきれいに取り除きましょう。

②水槽の衛生状態

夏は牛の飲水量が増え、給水施設を利用する頻度が増えます。それだけ水槽やウォーターカップなどが汚れます。清掃頻度を増やし、給水施設の動作状況を確認しましょう。パドックや放牧地など、牛が居住エリア全ての水槽の出水量が十分であることが必要です。

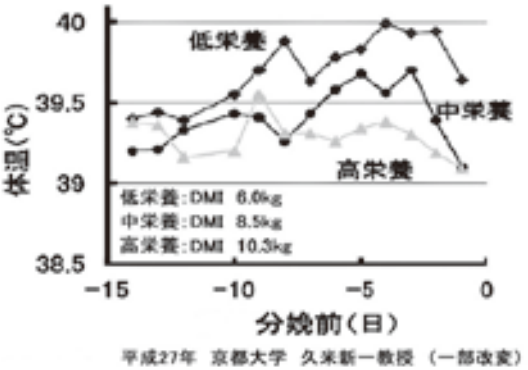
③採食場所の湿度を下げる

牛舎内湿度が高いと体温放出効率が低下します。舎内の空気入れ替えが重要です。換気扇や扇風機の稼働を常に確認しましょう。

牛舎内の空気は呼吸やふん尿からの蒸散水分に炭酸ガスやアンモニアガスが含まれます。牛舎をできる限り開放しましょう。

乾乳期の暑熱対策で、牛の健康維持と高い生産性が期待できます。

暑熱の期間は短いですが、ここをうまく乗り切ることが今年、来年の経営に貢献します。



平成27年　京都大学　久米新一教授（一部改変）

図１　夏期間における分娩前の体温変動

写真２　乾乳舎の扇風機とミスト

写真１　牛床上の扇風機設置例

広尾警察署からのお知らせ

毎年９月１日は「防災の日」 ８月30日～９月５日は「防災週間」

「防災の日」は、大正12年９月１日に発生した関東大震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風への心構えという意味を含めて制定され、この日を含む１週間が「防災週間」と定められました。

この機会に、災害についての認識を深め、自分の周囲で起こる可能性がある災害や、身の回りの危険な箇所、避難場所や避難経路等を確認して、災害にしっかり備えましょう。

【広尾警察署　２－０１１０】

秋の全国交通安全運動の実施

反射材　自分をアピール　防ぐ事故

○運動期間

９月21日(金)～９月30日(日)の10日間

○この時期は、日没が早まり夕暮れ時間帯から夜間にかけて高齢者を中心とした歩行者被害の交通事故の発生が懸念されることから、運転手も歩行者も互いに注意しましょう。

相談電話（＃9110）ご存じですか？

○「＃９１１０」をご存じですか。

相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「＃9110」の警察相談専用電話でも可能です。是非、覚えておいてください。

☆ダイヤル回線番号、ＩＰ電話等で短縮ダイヤルが利用できない場合は、次の番号におかけください。

釧路方面本部…0154-23-9110

理事会の動き

第６回　７／26

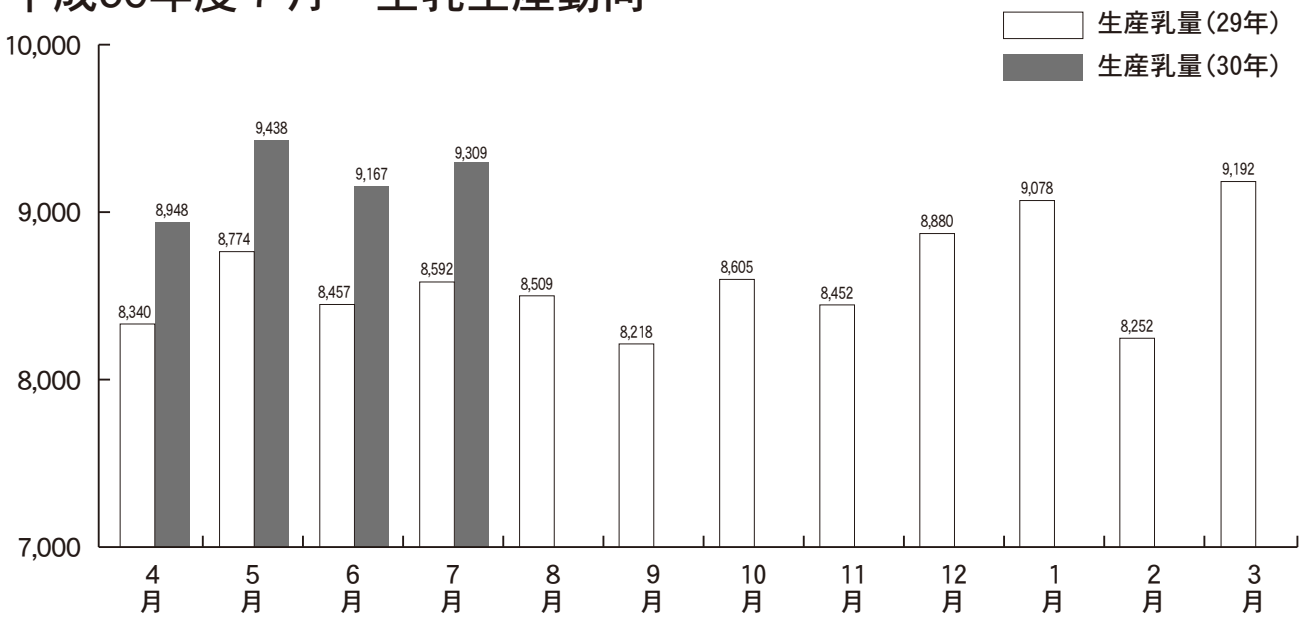
★報告事項

1 十勝酪農畜産対策協議会第２回全体委員会について
2 平成30年度十勝総合畜産共進会（肉牛）の結果について
3 平成30年度十勝総合畜産共進会（乳牛）の出品について
4 災害緊急支援対策事業（大雪）の実施について
5 農作物生育状況定期調査結果について
6 平成30年産畑作物作付面積調査結果について
7 平成30年産民間流通麦の全道共計の取扱いについて
8 要改善ＪＡ要綱・ＪＡバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中及び農林中金が定める事項の報告について
9 内部管理態勢にかかる指導要綱・ＪＡバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」の報告について
10 子会社の経営状況について
11 組合員の異動について
12 職員の退職について
13 職員の採用について
14 第22回家畜まつりの総括について
15 連合会の決算状況について

★付議事項

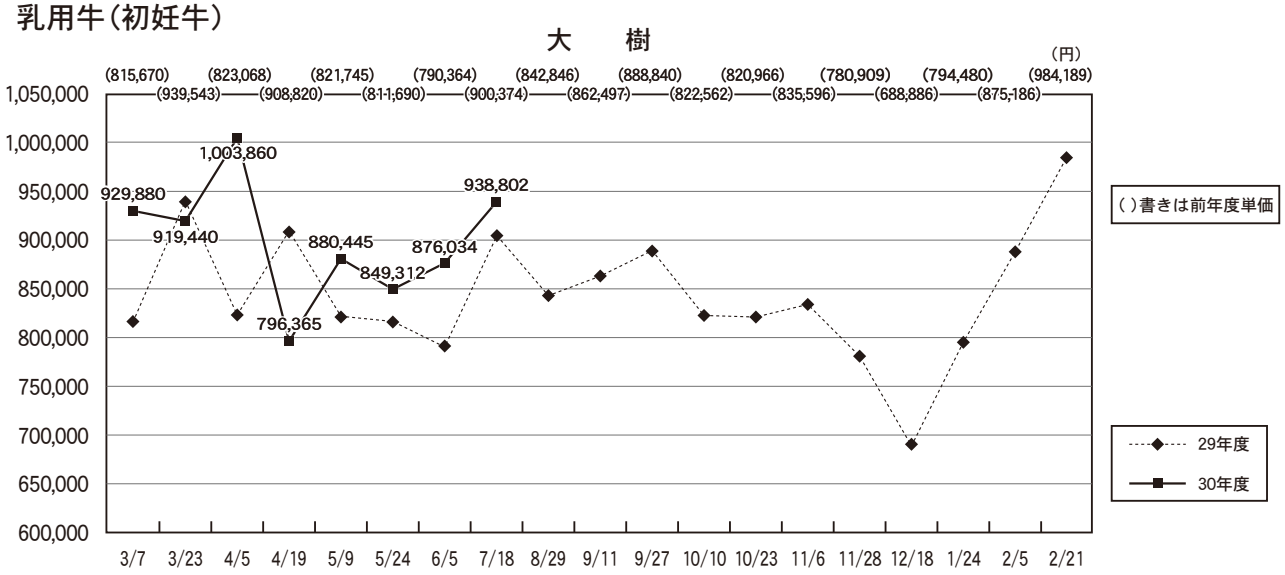
第１号　生乳受託販売規程の一部改正について　協議・承認
第２号　理事に対する資金の貸付について　協議・承認
第３号　固定資産の取得について　協議・承認
第４号　出資の減口について　協議・承認
第５号　給与規程の一部改正について　協議・承認
第６号　名誉組合員故高橋亘殿の組合葬の執行について　協議・承認
第７号　弔慰金の支出について　協議・承認

平成30年度７月　生乳生産動向

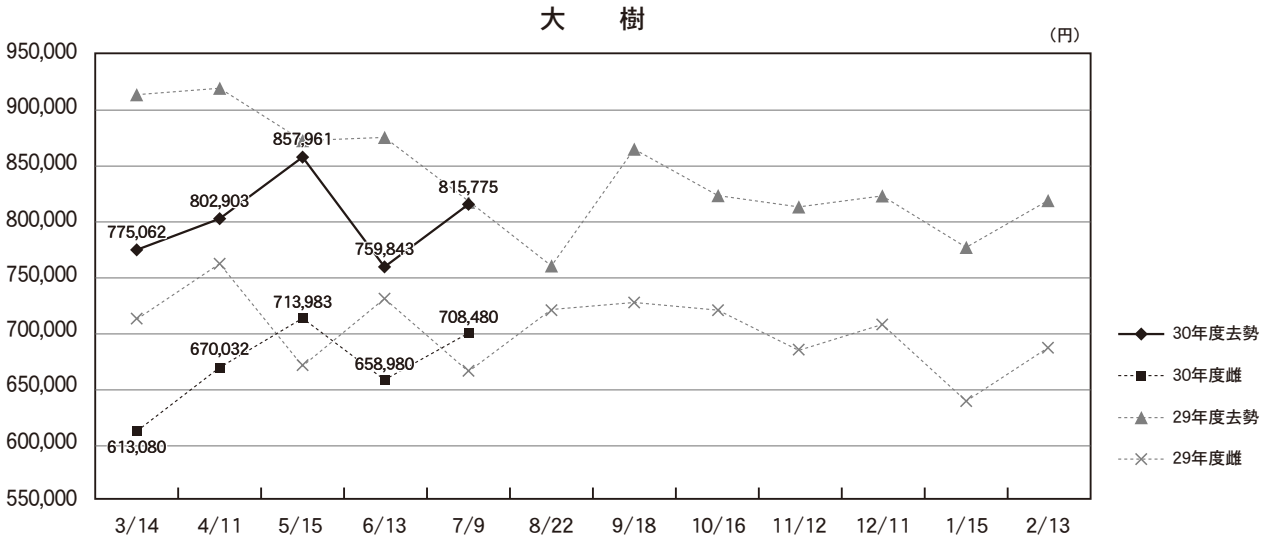


家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)



正解者10名にAコープ商品券が当たる

頭の体操　クロスワードパズル

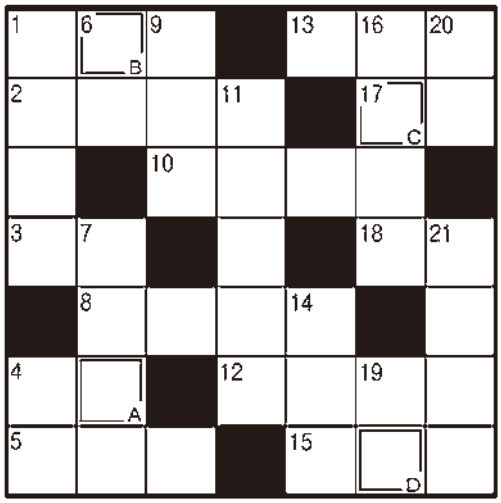
クロスワードパズル

タテのカギ

①電流を流したり切ったりする装置
④深谷、下仁田、九条といえば
⑥膝より下、くるぶしより上
⑦野山を耕して田畑にすること
⑨鉄棒や跳び箱を使って行う――体操
⑪木を育てたり切り出したり加工したりする仕事
⑭体の90％以上が水分だという、水にすむ生き物
⑯年下の女きょうだい
⑲田楽にしてもおいしい紫色の実野菜
⑳あ、おいしそう。ひと――ちょうだい！
㉑カイコの繭から作ります

ヨコのカギ

①十五夜に飾る植物
②米の収穫作業の一つ
③エレベーターの表示では「B」
④よく飼われているペットなんだニャ
⑤石原裕次郎と牧村旬子のデュエット曲「――の恋の物語」
⑧――足りて礼節を知る
⑩和風の携帯薬入れ。黄門様のドラマでおなじみです
⑫恋愛運や金運などを見てもらいます
⑬カラオケ店で離さない人もいます
⑮招く人がホストなら、招かれる人はるように見えるとか
⑰月の模様はウサギがこれをついているように見えるとか
⑱佐渡島に保護センターがある島



■解き方＝普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。次にA→Dの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。
■締切り＝9月10日（当日消印まで有効）
■届　出＝本所企画管理課、生産資材課・大樹協同商事の専用投書箱へ。
■とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は62円切手をはって下さい。
■賞　品＝大樹協同商事商品券（正解者多数のときは、抽選で10名の方に）
■職員とその家族の方はご遠慮下さい。
■**8月号の応募者は25名で、全員が正解されました。抽選の結果、次の方々が当選しました。**
当選した方には大樹協同商事の商品券をお届けいたします。

8月号の答え

A B C D E
ナ ツ マ ツ リ
でした。

当選おめでとうございます

当　選　者

（歴舟）遠藤さよ子さん
（萠和）川原蔦枝さん
（拓北）畔木チヨ子さん
（大光）五木田幸子さん
（上大樹）坂本松太郎さん
（開進）島田範子さん
（豊里）牧田陽子さん
（東和）向井稔さん
（拓北）吉田英昭さん
（萠和）米谷貴子さん

今月のレシピ

シャキシャキレタスのスペアリブ茶漬け

材料（１人分）

スペアリブ…１本
レタス…1/8個
ダイコン…皮をむいた１㎝厚の輪切りを２個
ダイコンの葉…適量
焼きおにぎり…１個
合わせだし
　水…３カップ
　コチュジャン…小さじ２
　塩…小さじ1/2
　料理酒…大さじ１
　ネギの青い部分…１本
　ショウガ…１片

作り方

⑴スペアリブは塩（材料外）をして常温で１時間置き、熱湯でさっと湯がく。輪切りのダイコンは面取りしておく。
⑵圧力鍋に⑴と合わせだしの材料を全て入れ、沸騰してから中火で10分煮る。
⑶ダイコンの葉は材料外のごま油、酒、砂糖、しょうゆで炒め、きんぴらにする。
⑷深めの器に焼きおにぎり、スペアリブ、ダイコン、レタスを盛り付け、青ネギとショウガを取り除いた⑵のだし汁を張り、ダイコンの葉のきんぴらを添え出来上がり。

ポイント　前日、夕食用に作ったダイコンとスペアリブの煮物と残ったご飯を焼きおにぎりにすると、合わせだしを作るだけでよく、まろやかな辛味のだしで食も進みます。コチュジャンの量はお好みで。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていねいに書いて下さい。
（あまり薄いと掲載出来ないことがあります。）

開 進
匿名希望さん

石 坂
太田 のどかちゃん（９歳）

下大樹
三木 優花ちゃん（８歳）

美 成
小島 未森ちゃん（８歳）